

o051k

昭和 59 年 度

秋田県環境技術センター年報

第 12 号

秋田県環境技術センター



は じ め に

国政の最重点課題として行財政改革が強力に推進される中で、本県でも、地方行財政改革に県を挙げて取り組んでおります。また、大工場の極く少ない本県では、公害即産業公害の短絡した意識が、産業公害の改善と共に、公害に対する関心を著しく減退させつつあります。このような条件下、環境監視網ならびに、検査業務の見直し、予算減等々、我々を取り巻く環境が非常に厳しくなっております。

しかし、北国の一隅にあっても、生活環境の現状は数多くの問題を内蔵しており、また住民のより快適な環境を望むニーズが高まりつつあると思います。我々としては、現状の監視業務のみに終らず、将来展望の上に立って、県民のニーズに応える事ができるよう、積極的に運営して、県民生活環境の保全・管理に幾分たりとも寄与すべく努力しております。

ここに、昭和59年度の業務実績をとりまとめ、秋田県環境技術センター年報第12号として、皆様の所にお届けします。御高覧の上、御批判、御指導下さるようお願い致します。

昭和 60 年 11 月

秋田県環境技術センター

所 長 三 浦 竹治郎